

## 第 2 期「菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

### I 国の動向

国は令和元年 5 月 31 日に第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に関する有識者会議の中間取りまとめ報告を示し、6 月 21 日に「まち・ひと・しごと創生基本方針 2019」を閣議決定しました。

#### (1) 第 1 期における地方創生の現状

##### ①人口減少と少子高齢化の進行

- ・ 2018 年の人口推計によると、前年に比べ 26.3 万人の減少、8 年連続の減少である。
- ・ 合計特殊出生率は、1.43 (2017 年)、年間出生数は 92.1 万人 (2018 年推計) で、全国的な出生数減少が続いている。

##### ②東京一極集中の継続

- ・ 一極集中の傾向が続いており、13.6 万人 (2018 年) の転入超過、全人口の 3 割が集中している。

##### ③地域経済の現状

- ・ 雇用・所得環境の改善が続いているが、東京圏とその他の地域との間に一人当たり県民所得等に差が生じている。
- ・ 地方において大多数を占める 中小企業は、大企業と比べて人手不足感が高まっている。

#### (2) 第 2 期に向けて

国では、第 2 期においても政策の 4 つの基本目標の枠組みを維持するとしています。

基本目標① 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

基本目標② 地方への新しいひとの流れをつくる

基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標④ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

また、4 つの基本目標に向けた取り組みを実施するにあたり、以下 6 点を新たな視点に重点を置いて施策を推進するとしています。

(1) 地方へのひと・資金の流れを強化する

(2) 新しい時代の流れを力にする

(3) 人材を育て活かす

(4) 民間と協働する

(5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる

(6) 地域経営の視点で取り組む

国の第 2 期総合戦略は、今年 12 月下旬頃に閣議決定される予定です。

## Ⅱ 菊川市の総合戦略について ～菊川市における地方創生をめぐる現状～

### (1) 人口動向

#### ①人口の推移について

平成 27 年に実施した国勢調査結果によると、菊川市の人口は 46,763 人となり、平成 22 年の 47,041 人から 278 人減少しました。

しかし、「菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間 4 年目となる平成 31 年 3 月末の住民基本台帳人口は 48,319 人となり、開始前である平成 27 年 3 月末の 47,679 人と比較すると、640 人の増加となっています。

また、国立社会保障人口問題研究所が平成 31 年 4 月に公表した最新の推計人口（表 2）によると、菊川市人口ビジョンにおける将来推計（表 1）での 2060 年の目標人口である 3.6 万人を上回る人数が示されています。

（表 1）市第 1 期人口ビジョン将来推計

（単位：人）

市推計	2015 年	2020 年	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年	2060 年
2010 基準	46,301	45,622	44,836	43,908	42,863	41,563	40,150	38,777	37,430	36,094

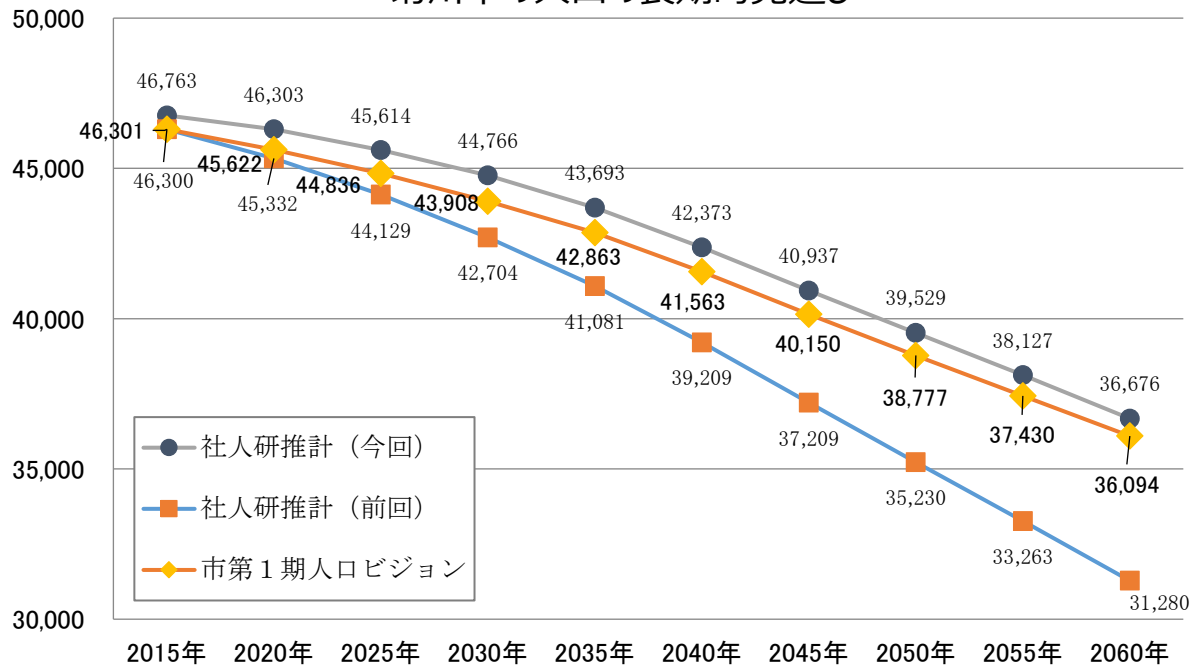
（表 2）日本の地域別将来推計

（単位：人）

社人研推計	2015 年	2020 年	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年	2060 年
前回 2010 基準	46,300	45,332	44,129	42,704	41,081	39,209	37,209	35,230	33,263	31,280
今回 2015 基準	46,763	46,303	45,614	44,766	43,693	42,373	40,937	39,529	38,127	36,676

（人）

### 菊川市の人口の長期的見通し



## ②人口構成

住民基本台帳人口における人口構成の推移は以下のとおりです（表3）。14歳未満の年少人口率は約14%とほぼ横ばいで推移していますが、15歳以上64歳以下の生産年齢人口は、平成31年で人数が増加したもの、減少傾向にあります。また、65歳以上の老年人口については増加傾向にあり、平成31年3月末現在で全体の26.5%を占めています。

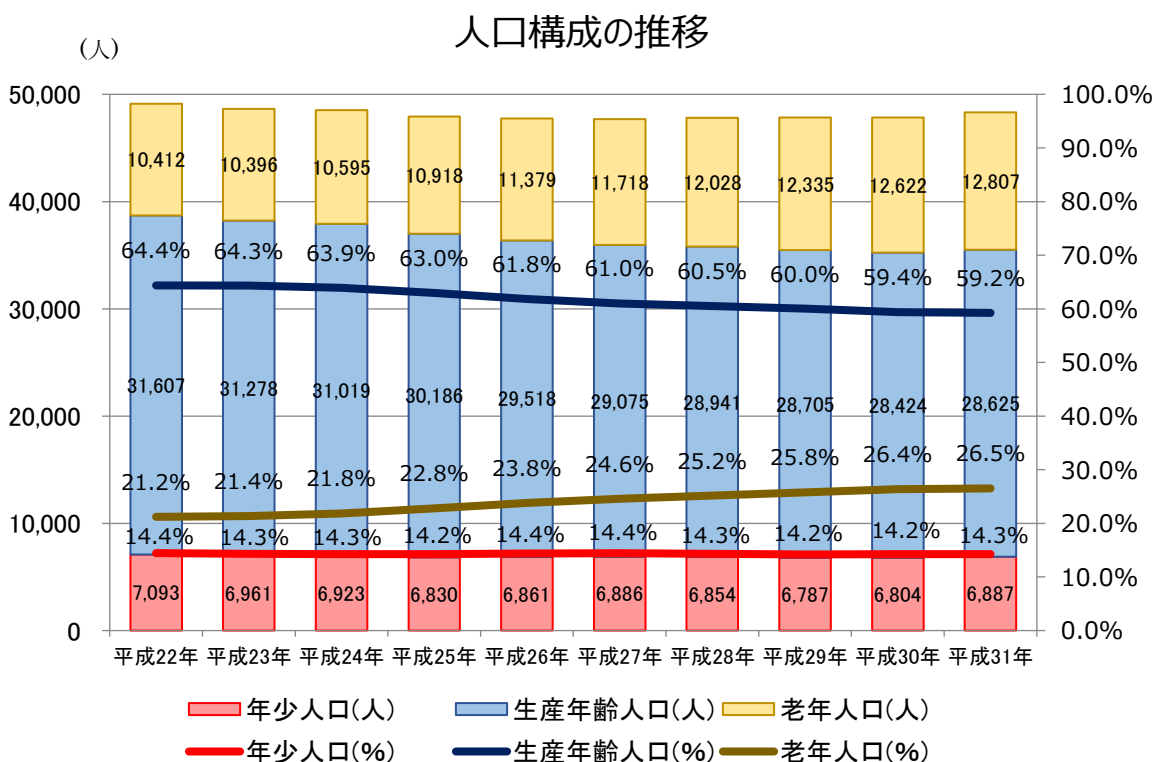
しかし、平成27年国勢調査結果による県内の自治体との比較においては、年少人口割合は4位、生産年齢人口割合は6位、老年人口割合は20位となっており、県内では若い世代が多く住んでいるまちであると言えます。

（表3）菊川市の人口構成の推移

（単位：人、％）

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
年少人口(人)	7,093	6,961	6,923	6,830	6,861	6,886	6,854	6,787	6,804	6,887
年少人口(%)	14.4	14.3	14.3	14.2	14.4	14.4	14.3	14.2	14.2	14.3
生産年齢人口(人)	31,607	31,278	31,019	30,186	29,518	29,075	28,941	28,705	28,424	28,625
生産年齢人口(%)	64.4	64.3	63.9	63.0	61.8	61.0	60.5	60.0	59.4	59.2
老年人口(人)	10,412	10,396	10,595	10,918	11,379	11,718	12,028	12,335	12,622	12,807
老年人口(%)	21.2	21.4	21.8	22.8	23.8	24.6	25.2	25.8	26.4	26.5
総人口	49,112	48,635	48,537	47,934	47,758	47,679	47,823	47,827	47,850	48,319
前年比		-477	-98	-603	-176	-79	144	4	23	469

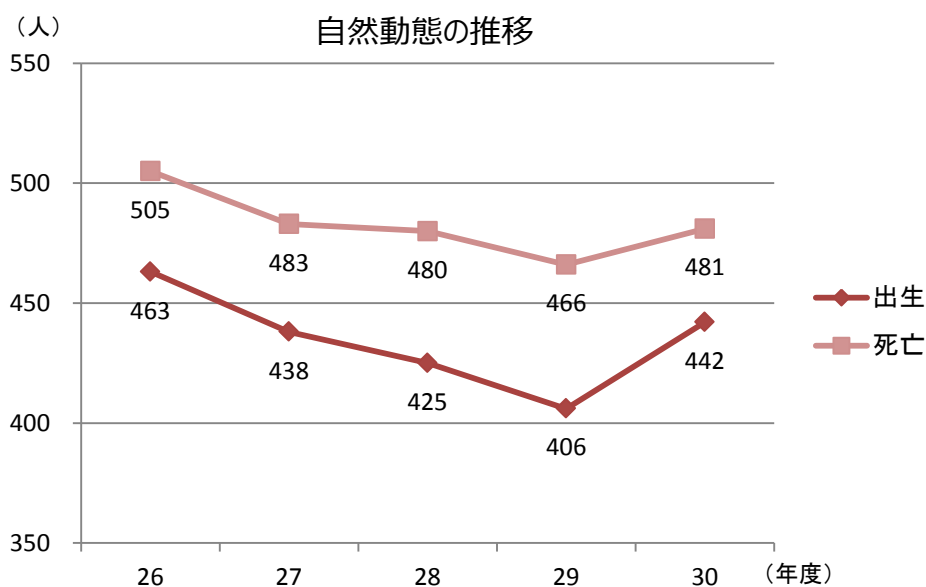
出典：菊川市住民基本台帳（各年3月31日）



### ③自然動態

平成 30 年度の出生数は 442 人、死亡者数は 481 人であり、39 人の自然減となりました。また、平成 28 年度は▲55 人、平成 29 年度は▲60 人と、自然減が続いています。

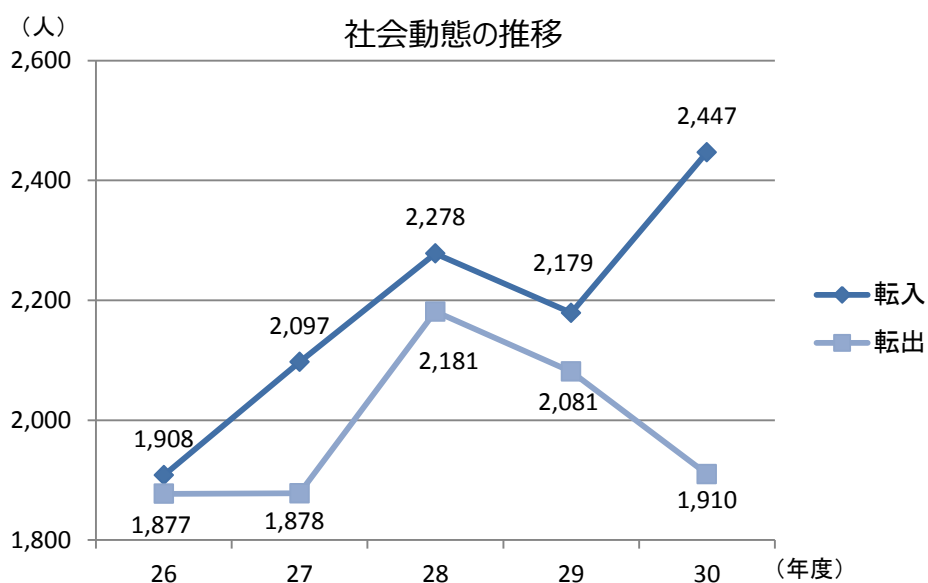
総合戦略におきましては、出生数の年平均の目標を 391 人としていますが、平成 27 年度からの 4 年間での出生数（実数）は毎年 400 人以上となっており、目標を達成しています。



### ④社会動態

平成 30 年度の転入者数は 2,447 人、転出者数は 1,910 人であり、537 人の転入超過となりました。また、平成 28 年度は+97 人、平成 29 年度は+98 人と、転入超過が続いています。

総合戦略におきましては、転入超過数の年平均の目標を 105 人としており、平成 28 年度、平成 29 年度は目標が達成されなかったものの、4 年間の合計では 951 人となり、全体の目標を大きく上回った人数となっています。



(2) 総合戦略における重要業績評価指数（KPI）の達成状況

平成30年度評価結果（重要業績評価指数における基本施策の評価）

基本目標	指標数	◎順調	○概ね順調	△難航・課題あり
1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち	6	2	2	2
2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち	5	2	2	1
3 時代を先取る菊川型農業モデルの創出	3	0	1	2
計	14	4	5	5

基本目標 1 抜群な子育て環境で家族が幸せに暮らせるまち

基本施策① 子育て・教育環境のさらなる充実

重要業績評価指数	H31目標	H30実績	H30評価
①授業がわかると思う子どもの割合	90.0%以上	<b>89.0%</b>	○
②「安心して子どもを育てられるまち」の回答に占める「不満・やや不満」だと思 う人の割合	14.0%以下	<b>15.0%</b>	○
③第2子以降の出生数	1,090人 (累計)	<b>931人</b>	◎

○本市における子育て支援・教育施策を充実させることで市民満足度を高めるとともに、出生率の向上に取り組む。

○市内小中学校すべての無線 LAN 整備を完了するとともに、教員が ICT 機器を活用し指導できるよう、研究発表会の実施などスキルアップの場を設けている。

○子どもを産み、育てながら働ける環境づくりのため、認定こども園への移行を公立1園、私立7園完了させた。また、一時保育等の利便性向上や妊娠出産時ホームヘルプサービスの利用補助を実施、情報支援として子育て応援サイトの充実や子育てアプリの配信を実施した。

○平成27年度から開始した新生児出産祝金事業や段階的に拡充した多子世帯への保育施設の利用負担支援について、効果検証や今後の事業展開を検討していく必要がある。

- ・指標①：引き続き高い水準を維持しており、順調である。
- ・指標②：微増しているが、今後取り組みの成果が現れるものとする。
- ・指標③：順調に推移している。

## 基本施策② 都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち

重要業績評価指数	H31目標	H29実績	H30評価
④観光交流客数	1,620千人 (累計)	<b>1,083千人</b>	◎

○市外から人を呼び込む魅力的なイベントの開催に取り組むとともに、菊川駅北地域の将来構想を進める。

○市民力を活かしたイベントの開催や、茶摘み・野菜収穫体験などを含む地域資源を生かした体験事業を開催し、交流人口拡大に努めた。また、駅北構想については、平成28年度に「駅北整備構想」を策定、平成29年度に「駅北整備構想概略整備計画」を作成、平成30年度には自由通路新設及び橋上駅舎化の基本計画調査を事業者へ委託した。

○今後、平成30年度に作成した本市の観光情報冊子を活用し、観光協会や民間事業者と連携・協力し魅力発信に取り組むとともに、新たな観光資源の掘り起こし等、観光交流客数のさらなる増加に努める必要がある。

・指標④：目標値の年平均は324千人であり、3年分の累計では目標を達成している。

## 基本施策③ シティプロモーションの実施

重要業績評価指数	H31目標	H30実績	H30評価
⑤菊川市を知っている人の割合	90.0%	<b>62.4%</b>	△
⑥ホームページの魅力紹介ページのアクセス数(PV)	10万PV	<b>59,136PV</b>	△

○本市の魅力を地域内外に効果的に発信し、知名度向上に取り組む。

○インスタグラムフォトコンテストを開催し、市内外から多くの参加者を集め、本市の魅力の発見や再認識を促し、認知度向上を図った。また、菊川の教育親子見学ツアーの一つである「農学芸スクール事業」は、キャリア教育に係る講義イベントの企画や、ジュニアビレッジの活動を通じて市内外に本市のPRを行った。

・指標⑤⑥：目標から離れた結果となっており、ターゲットを絞った情報発信や魅力的なコンテンツを創り上げるほか、職員へのシティプロモーションへの意識付けに努める必要がある。

## 基本目標 2 贅沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

### 基本施策① 郷土愛を育むまち

重要業績評価指数	H31目標	H30実績	H30評価
⑦将来菊川市に住みたいと思う高校生の割合	50.0%	40.7%	△

○中高生などの若者が地域の良さを認識し、地域づくりに主体的に参加するなど、郷土愛を育む機会を設け、将来地域で活躍する人材の育成に取り組む。

○市内3中学校において地元企業や団体、行政等が参加する説明会を実施。中学生が自身のキャリアについて考えるきっかけとなるだけでなく、参加企業にとっても関心を惹くきっかけとなり、双方にメリットがある取り組みとなっている。

○市内の高校と連携し、市が抱える問題について生徒が研究・課題解決を考案する「高校生ふるさとセミナー」事業を実施し、その成果を「高校生まちづくりプレゼンテーション大会」において発表した。

- ・指標⑦：40%台前半で推移している状況である。継続的な事業実施が必要であり、効果的な事業の組み立てについて引き続き検討・実施が必要である。

### 基本施策② 「働く場」と「出会い」があるまち

重要業績評価指数	H31目標	H30実績	H30評価
⑧事業所数	1,860事業所	1,843事業所	○
⑨婚姻数	2,810組 (累計)	2,032組	○

○「働く場」の創出により転入やU・Iターンの増加を図る。また、「出会い」の創出により婚姻数増加を目指す。

○市内外への企業訪問及び継続的な情報提供により事業所・企業等の新規立地を図った。また創業支援計画に基づき希望者の支援を実施した。就業支援については、「なでしこワーク」の利用者の利便性向上を図るために開催時間の変更を行った。

○出会いの場の創出として、市主催の婚活イベントを開催し、平成30年度は80人の参加者から11組のマッチングが成立した。

- ・指標⑧：創業支援や企業誘致に取り組んでいるが、大幅には増加していない。今後新たな工業用地の選定を進めていく。
- ・指標⑨：現在のところ順調に推移している。

### 基本施策③ アクセスの良さを活かした住環境の整備

重要業績評価指数	H31目標	H30実績	H30評価
⑩住宅取得補助制度の利用件数	240件 (28-31累計)	<b>285件</b>	◎

○鉄道駅や高速道路 IC など交通利便性の高さを生かし、住みやすい、住んでみたいと思わせるまちづくりを進める。  
○宅地建物取引業協会と空き家等の適切な管理及び利活用を促進するための協定的決の検討を進めた。また、若者世帯定住促進補助制度により、住宅取得費用の一部を補助するなど、新たに住宅取得を検討する世帯に本市を選択してもらえるよう取り組みを進めた。

・指標⑩：制度開始3年目で目標を達成した。利用者アンケートにより実態を把握して今後の制度検討を進めていく必要がある。

### 基本施策④ 自己実現できるまちづくり

重要業績評価指数	H31目標	H30実績	H30評価
⑪65歳以上人口に占める要支援・要介護認定者の割合 (%)	16.90%以下	<b>13.35%</b>	◎

○心身ともに健康で、自身のやりたいことが実現できるまちづくりを目指す。  
○市民活動の活性化と市民協働の推進を目標に、菊川市市民協働センターにおいて様々な市民活動に対する支援を行った。センター登録団体は目標を上回り利用者数も増加傾向にある。  
○ロコモティブシンドロームを予防し、健康のための一歩を踏み出すため、筋力アップ応援隊養成講座を実施。介護予防の重要性を伝えるとともに自主活動のサポートを実施し、毎年自主グループが新たに活動を始めている。

・指標⑪：毎年減少しており、順調に推移している。



## 基本目標 3 時代を先取る菊川型農業モデルの創出

### 基本施策① 儲かる次世代農業モデルの推進

重要業績評価指数	H31目標	H30実績	H30評価
⑫認定農業生産法人の数	23法人	<b>24法人</b>	○
⑬転換作物作付面積	15ha	<b>5.6ha</b>	△

○担い手への農地の集積や複合経営の推進、地域特産物の創設（ブランド化）を進め、「儲かる菊川型農業モデル」の確立を目指す。

○農地と人のマッチングの仕組みの運用を開始した。規模拡大を目指す農業者へ農地の集積を図っていく。また、高収益作物との複合経営に向けた知識・技術支援や、複合経営モデルの作成、地域特産品の開発に係る包括的支援を実施した。

- ・指標⑫：積極的な新規法人の受け入れ等の成果もあり、順調に推移している。
- ・指標⑬：面積は増加しているものの、目標には届いていない。

### 基本施策② 農業女子が輝ける菊川プロジェクト

重要業績評価指数	H31目標	H30実績	H30評価
⑭市内への新規参入女性農業者	3人 (累計)	<b>1人</b>	△

○女性農業者（農業女子）が働きやすい環境づくりに努め、新たな農業の担い手確保と本市での就農の魅力をアピールする。

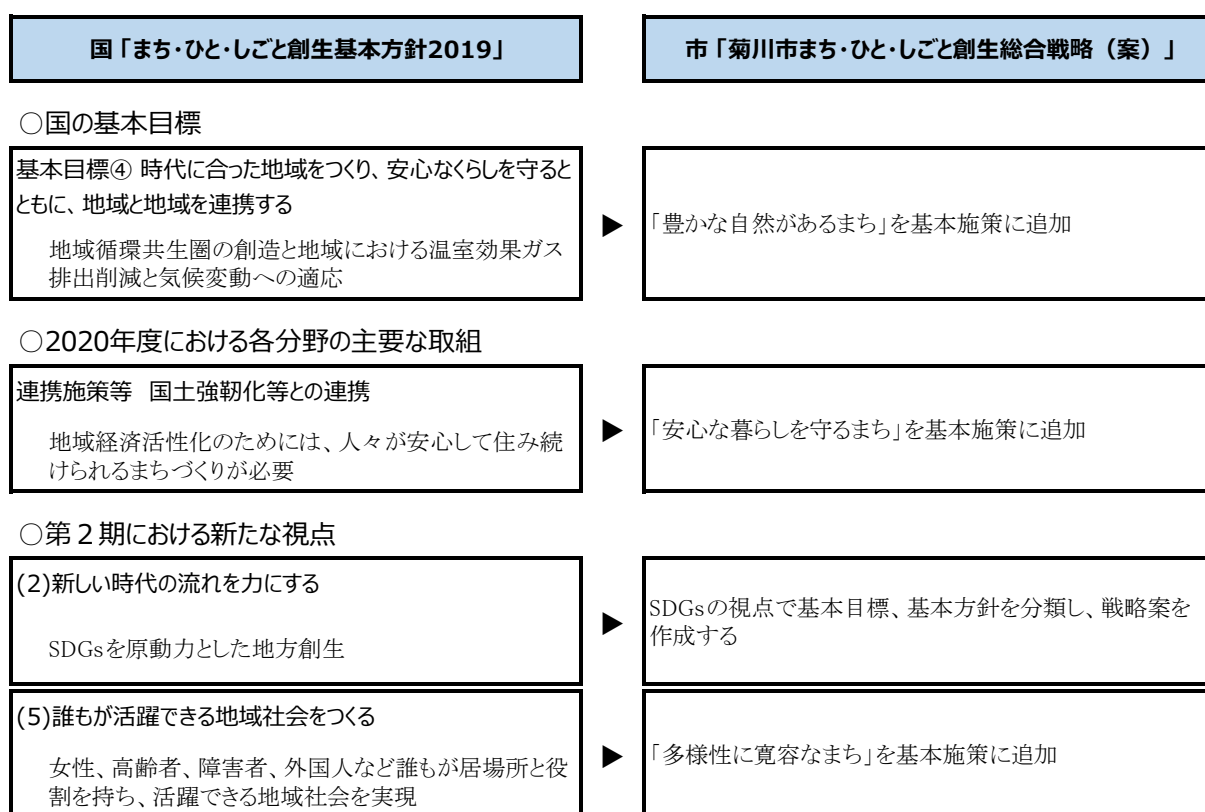
○農林大学校職員が構成員として参加する検討会を開催し、女性の就農支援について検討した。平成30年度は検討会に新たに市内農地所有的確法人の女性従業員2人が参加した。また、市内で活躍する生産者をPRする情報発信に力を入れることとして、地域おこし協力隊を募集した。

- ・指標⑭：関係者との調整や市内案内などのサポートを実施した結果、平成30年度に1人参入した。

### Ⅲ 菊川市の次期総合戦略について

#### (1) 第2期総合戦略策定の基本的な考え

- ①人口ビジョンについて、社人研推計を基本としつつ再検討します。
- ②社会増が自然減を補う形で人口は増加傾向にありますが、引き続き定住人口を確保し、活力があり自立したまちを維持していく必要があります。
- ③地方創生は息の長い取り組みであり、第1期に根付いた地方創生の意識や取り組みを今後とも継続するため、第1期総合戦略をベースに第2期を策定します。
- ④国の次期戦略における方針を踏まえつつ、菊川市らしい特徴のある新たな事業を盛り込みます。



以上を踏まえ、次期戦略の体系図案を次ページのとおりとします。

第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

基本目標	基本施策	基本事業 ※
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">社会・人</div>  1. 家族が幸せに暮らせるまち	①子育て・教育環境の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援</li> <li>・経済的支援</li> <li>・教育環境の充実 など</li> </ul>
	②自己実現できるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総活躍社会</li> <li>・婚活支援</li> <li>・健康寿命 など</li> </ul>
	③多様性に寛容なまち(新)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生</li> <li>・男女共同参画 など</li> </ul>
	④郷土愛を育むまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者のキャリア教育</li> <li>・シティプロモーションなど</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">経済</div>  2. 夢ある仕事、安心して働けるまち	①「働く場」があるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致</li> <li>・創業支援</li> <li>・U・Iターン など</li> </ul>
	②時代を先取る菊川型農業モデルの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代農業</li> <li>・地域特産物</li> <li>・女性の就農 など</li> </ul>
	③都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流・集客の促進</li> <li>・駅周辺の整備 など</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">自然環境・住環境</div>  3. 贅沢な自然環境と安心して暮らせるまち	①豊かな自然があるまち(新)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川菊川の水質保全</li> <li>・循環型社会の実現</li> <li>・地球温暖化対策 など</li> </ul>
	②アクセスの良さを活かした住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策</li> <li>・移住・定住 など</li> </ul>
	③安心な暮らしを守るまち(新)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災</li> <li>・防犯 など</li> </ul>

※基本事業には、想定される基本事業のキーワードを記載

## (2) 今後のスケジュール

今後、国や県の動向に注視しつつ、庁内で調整を図り、委員の皆さまのご意見を伺いながら総合戦略案を作成します。その後、パブリックコメントを経て、広く市民の皆さんからご意見をいただき、令和2年3月に完成・公表をする予定です。

	令和元年						令和2年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人口ビジョン 策定作業		データ 整理	→	案作成	→	→	→	→		修正	→	公表
総合戦略 策定作業	事務局 案作成	→	→	案作成	→	→	→	→		修正	→	公表
パブリック コメント									準備	実施		
審議・報告			委員会	審議会 ・意見	→			委員会	審議会 ※1		委員会	審議会 ※2
議会										説明		

※1・・・庁内で調整後の総合戦略(案)の報告。

※2・・・パブリックコメントを踏まえ、調整後の総合戦略(案)の報告。承認の依頼。